



河鍋暁斎記念美術館（南町4-36-4 ☎441-9780）9～10月企画展示

企画展「暁斎・暁翠の錦絵—版下絵から版画まで—」展

同時開催 特別展「暁斎プラスワンシリーズ 25 堀田操・堀田浅子-二つの旅-」展

会期：2016年9月2日（金）～10月25日（火） 休館日：9/26～30、毎週木曜

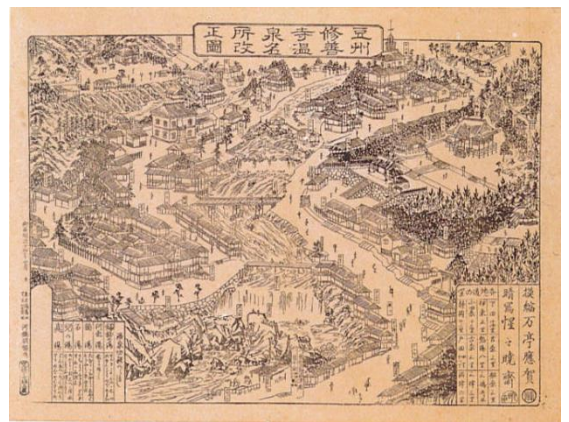
入館料：一般540円、中～大学生430円、小学生以下210円、団体要予約（20名以上）

企画展と特別展を同時開催しております。企画展では、暁斎と娘・暁翠による錦絵（にしきえ）を取り上げます。多色刷り木版画である錦絵は、版元のプロデュースのもと、絵師が下絵を描き彩色を監修し、彫師、摺師との分業で制作されました。完成した錦絵とその下絵、校正のために摺られた校合摺り、見本摺も展示し、完成作品と比較してご覧いただきます。

また、第3展示室では、第25回を迎える「暁斎プラスワンシリーズ」を開催し、故 堀田操氏の洋画と浅子夫人の銅版画を展示しております。

暁斎画「修善寺温泉図」 明治14年（1881） 紙本墨摺

戯作者の万亭応賀が編集し、暁斎が描いた修善寺温泉の絵図です。右下には各都市からの距離、左下には主な湯の効能が記されています。本図の版木も見つかって当館が所蔵しており、彫りの細かさを見ることが出来ます。版木には、主線を彫った「墨版」のほかに「色版」があり、版画に用いられる色の数によって色版は何枚も彫られました。墨版では版木となる版材に版下絵を貼り込み、摺りを合わせる目印となる「見当（けんとう）」をつけてからノミや小刀で彫っていきます。版木には、適度に硬さがあり目の細かい桜の木が最も適しているとされ、墨版と色版では主線を彫る墨版に良質の木材を使ったといえます。



南小学校ひまわり学級（特別支援学級）

7月19日（火）に校内の職員に昼食を作る「レストランひまわり」を開きました。チケット作りでは、それぞれ書く担当を割り振り、自分が書く字を繰り返し練習してから書きました。当日の接客方法も学習し、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」といったセリフを練習しました。当日は、練習した成果を発揮しようと元気に「いらっしゃいませ！」と声を出しました。そして、食べてくださる職員の顔を見て、子供達はとても喜んでいました。約50杯のうどんを提供することができ、充実した活動となりました。

8月17日、18日には、北小のひまわり学級と合同の宿泊合宿で長野県のわらび山荘に行き、2年生以上の4名が参加しまし

ました。保護者の元を離れ自分のことを自分で、自立に向けての練習を行いました。また、スライダーや川遊び等を行い、自然を満喫し、普段味わえない経験をすることができた貴重な時間となりました。

9月24日（土）に南小学校では運動会が行われます。ひまわり学級と3～6年生と一緒にダンスを踊る交流種目があり、ひまわり学級では「楽しく音楽に合わせて体を動かす」ことを目標に1学期から練習を重ねています。当日はひまわり学級以外の友だちと一緒に「楽しい」という気持ちを共有できればいいなと思っています。お時間のある方は是非南小へお越しください。